

# 平泉を掘る

町内には、数多くの貴重な遺跡があります。この遺跡内で住宅などを建てたり、切り土・盛り土の工事をする場合には、文化財保護の観点から事前に埋蔵文化財の発掘調査が必要です。

事業を円滑に進めるため、皆様のご協力をいただき発掘調査を実施しております。

## ◎発掘調査(野外調査)の実施期間

発掘調査(野外調査)は毎年4月から10月までの7ヶ月間です。11月から翌年3月までは室内整理期間(発掘調査報告書作成など)となり、原則として発掘調査(野外調査)は実施しません。

## ◎発掘調査の経費

発掘調査や室内整理にかかる経費については、文化財保護法に基づく原因者負担の原則により、開発事業者に負担していただきます。

個人住宅の建設などの場合は、国庫補助制度を活用するため個人負担はありません。

## ◎受付期間(開発事業の協議)

平成27年度の発掘調査は、平成26年12月初旬までが

## 発掘最前線<sup>128</sup>

### — 発掘調査にご協力を —

受付期間です。この期間内に協議があったものを27年度の調査スケジュールに組み入れていきます。

住宅建設などの計画がある場合は、できるだけ早い時期に問い合わせ・協議をお願いします。

### ◎申請受付・問い合わせ先

文化遺産センター ☎46-4012  
教育委員会 ☎46-5576



発掘調査の様子

# 委員長に 佐藤勅司さん

## 町選挙管理委員会委員

町選挙管理委員会委員の任期満了に伴う選挙が、地方自治法の規定に基づき9月定期町議会で行われ、新しい委員と委員補充員が次の通り決まりました。

(敬称略)

### 【選挙管理委員会委員】

▽委員長 佐藤勅司(14区)▽委員長職務代理者 千葉廣光(11区)▽委員 今野真木男(17区) 千葉敏明(5区)



委員長  
佐藤勅司さん



委員  
千葉敏明さん



委員  
今野真木男さん



委員長職務代理者  
千葉廣光さん

【選挙管理委員会補充員】  
遠藤悦郎(9区) 千葉征紀(15区) 千葉勝郎(19区) 志羅山登美子(7区)



# 国際リニアコライダーが やってくる!?

## 第5話 「ケロ平、平泉町役場に行く(3)」



地下100<sup>メートル</sup>ほどのところに数十<sup>キロ</sup>のトンネルを掘って、なんだか怖いなあ～

職員…そうだね、難しい工事も伴うし、実験では電磁波や放射線も発生するんだ。

ケロ平…放射線!? だって大丈夫なの?

職員…完全にコントロールできるし、なによりも災害が起こり運転がストップすると、それらの発生も停止するから大丈夫だよ。

ケロ平…でも、大量に使う電気が暴走とかしないの?

職員…それらもやはり停止するようになっている。だから火災のリスクも低いはず。

ケロ平…そっか、だんだん安心してきた。

しかし、お茶を飲んで、すっかりくつろいでいるよねえ～

ケロ平…だってここは、悠久の都、平泉でしょう?

職員…たしかに、毛越寺庭園は落ち着くもんね。パワースポットだ!

ケロ平…ところで役場に来る途中、実験が終わったトンネルが、核のゴミ捨て場になるかもなんて、心配している人がいたよ。

職員…世界規模のお金をかけて行っ研究だから、直したり拡張したりして、永遠に使われるらしいし、何よりも核の廃棄場所としては、浅くて適さないということだった。

ケロ平…よかったあ～。みんなにもっと教えてあげてよ。安心するから。

職員…そうだね。中身が難しいけど、啓発活動を頑張ってみるっ!

ケロ平…でもなんでこの付近が、建設候補地になったのかなあ…?

(つづく)



2013岩手県ケロ平 designed by センウェル

### 寄稿

### ふるさと平泉会から

## 第32回江東区民まつり開催 平泉町が「はるばるバザール」に出店、盛況!

10月18日～19日の2日間、東京都立・木場公園で「第32回江東区民まつり」が開催され、平泉町の「江東区民と交流する会」がはるばるバザールに出店しました。

平泉町からは、町長就任後、初めて参加の青木幸保町長と、高橋和夫観光商工課長をはじめ事務局の町職員7人および、販売品目の生産・販売業者15人の皆さんが参加しました。

特に、青木新町長に今



第32回江東区民まつりの「はるばるバザール」に出店し、横断幕を作って平泉町ブースを大きくアピール。

江東区民まつりは、毎年10月中旬に2日間開催されています。今回は快晴に恵まれ、43万人の来場者があり大盛況でした(主催者発表)。江東区は現在人口は約50万人で、23区中8番目に人口の多い自治体です。その江東区と平泉町は、20年前から「水かけ神輿」をきつ

後の抱負を伺うと「これから、広く観光であれ、事業の振興であれ、少子高齢化問題にしても個別の市町村だけではなく区域的に連携を保って協力しながらやっていかなければなりません。花巻から南の県南地域8つの組長が集って話し合いもしています。有効な観光資源を沿岸の方へも交流人口として回して住民と共に繁栄していきたいと思っております。」と、グローバルな方針を述べられました。

けに友好都市関係を構築し、江東区民まつりへの参加を経て、最近では、江東区の中学生が平泉の農家民泊や農業体験をする「グリーン・ツーリズム」を実施しています。このように友好の輪を育てることは、相互繁栄の礎となることでしょう。

19日(日)、はるばるバザールの平泉町ブースには、ふるさと平泉会の西村専次会長、伊藤政人幹事長ほか多数の会員が来店。郷里平泉の香り漂う特産品であるリンゴ、地酒どぶろくアイス、ずんだ餅などを購入、テーブル席を囲んで飲食と談笑、郷土愛の交歓を深め、散会しました。

### ふるさと平泉会副会長 鈴木喜佐人



青木幸保平泉町長(前列右から2人目)と来場したふるさと平泉会の役員及び会員の皆さん